

単元構想シートⅡ

第5学年 単元名「単位量あたりの大きさ」 全5時間

重点的に育成を目指す資質・能力

- ①速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それらを求めること。(知識及び技能)
- ②異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすこと。(思考力、判断力、表現力等)
- ③異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に検討して捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする事。(学びに向かう力、人間性等)

本単元で働かせる数学的な見方・考え方

「二つの数量の関係に着目」「そろえる」「図で考える」「1あたりで表す」

	学習活動	「解決過程を振り返る」段階における目指す児童の姿	家庭学習	評価
1 ・ 2	混みぐあいの比べ方を考える。	人数と広さの関係に着目し、混みぐあいの比べ方を考え、単位量あたりの考え方をを用いて比べ方を理解している。	練習プリント	①②ノート分析・行動観察
3	単位量あたりの大きさを使って比べる。	単位量あたりの大きさをを用いて比べることのよさに気づき、活用できる場面を身の回りから見つけようとしている。	身の回りの単位量あたりの大きさを探そう。	②③ノート分析・行動観察
4	地方の人口密度を比べる。	人口密度の意味や求め方を理解している。	滋賀県と同じくらいのコミグアいの都道府県を調べよう。	①ノート分析・行動観察
5	練習問題に取り組む。		ガッテン！！ プリント	①②③ノート分析・行動観察